

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2・39	地域地の交流及び外出頻度の減少。身なりへの配慮が欠けている。	整容を行い清潔保持に努めていく。また、身なりへの配慮も行い外出機会を設ける。	毎朝、利用者の健康管理を行い際に整容にも注意を行う。また、利用者各位の意思決定を尊重しつつ、限られた職員数で可能な範囲での外出機会を設けていく。	1ヶ月
2	35	熊本地震発生後、自然災害の認識は高まったが、月日が経過するにつれ意識の低下が懸念される。今後、自然災害の対応への課題がある。	火災訓練は年2回実施しているが、自然災害の脅威については認識も低いと思う。迅速な対応が行える不安は多くある。その点を含めトレーニングを行い機会を設ける。	想定を超える災害への対応は厳しいと思われるが、熊持地震発生後の対応について振り返る機会を設ける。また、地域とのつながりを継続して地域の消防団及び地域住民代表者と継ぎ目がない関係構築を継続する。	6ヶ月
3	36	居室、トイレに入る際にノックをする事は扉を開ける行為がある。また、トイレ誘導時でのドアの開閉の徹底が行われていない。	トイレ使用中でのドア開閉確認。居室に入る際はノックを徹底。	グループホームの定義を再確認し、各利用者の尊厳を踏まえた対応を心掛ける。	1ヶ月
4	40・4	低栄養になりがちなミキサー食の方にタンパク質不足が見られる。好き嫌いが多く、食事の食べ残しがある。	栄養状態の改善。メニューの中に好みを入れ食べこぼしを減らす。	医師、管理栄養士の指導を仰ぎながら、補助食品が必要時には家族へ提案を行い了承を得られた場合に使用。栄養改善に努めていく。また、嗜好を踏まえた食事提供を行うよう心掛ける。	1ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。